

# 令和6年度 第1回 学校評議員会

日時：令和6年7月17日（水） 10時55分～11時55分

場所：本校多目的教室

出席者：学校評議員5名 学校職員10名

## 1. 開会

## 2. 学校評議員委嘱

## 3. 学校長挨拶

- ・SSH平成15年度の指定から継続指定。本年度先導型改革型Ⅱ期の指定を受ける。全国でも3校のみ。中学・高校での探究活動が評価されている。
- ・鳩祭実施、一般公開5年ぶり。来場者4,300名、コロナ前を超える来客数となった。
- ・7月20日中学生体験入学を実施予定。参加生徒は例年並み、保護者は1割増。
- ・ハンド女子、山岳女子、ギターマンドリン、将棋、新聞、弦楽が全国大会へ。
- ・中学男女テニス、ハンド女子が北信越大会へ。
- ・SSH新規の事業を進めながら進化させていく。信大との連携、科学的な視点のもち方などを強化。
- ・昨年度、後期試験は定員割れであった。中学校への訪問などを積極的に行い、広く本校をアピールしていく。
- ・進学型単位制の導入3年目。少人数講座を拡大して、手厚い指導を実施している。

## 4. 学校からの説明

### (1) 附属中学校の主な取り組み

- ・好奇心旺盛な新入生を迎え、どの学年も文武両道で頑張っている。
- ・各学年70名ほど部活動へ参加。17班のうち15班が中高合同で活動している。部活動の地域移行で千曲坂城クラブでの活動も行っている。
- ・地域の活動などボランティア活動にも積極的に参加している。
- ・9教科中、8教科で高校職員による授業を行っている。今後も連携強化を図りたい。
- ・本年度の行事の変更点は、2学年の研修旅行を東海地方へ変更。
- ・3学年の修学旅行で京都大学の見学・講義見学・キャンパスツアーを取り入れる。
- ・先輩の話聞く会を8月24日（土）に行う。
- ・家庭学習の充実のため、選択式の学習を行っている。また、放課後学習CSSにて高校生による中学生への学習支援を行っている。生徒が学び続けられる手立てを講じていきたい。
- ・遠方から登校する生徒のセルフマネジメント力の向上を図っていきたい。
- ・登校が難しい生徒へのサポートを充実させていく。

### (2) 高校の主な取り組み

- ・昨年度の活動報告と本年度の活動の様子について
- ・SSHの取り組みについて
- ・進学型単位制について
- ・外部への本校の取組の紹介
- ・メディアに掲載された本校の取組について

### (3) キャリア教育について

- ・昨年度卒業生は共通テスト出願5教科7科目受験が9割超。受検科目を絞らず幅広い教科の総合力を身につけるように指導をしている。
- ・昨年度3年生は国公立大学に170名が合格。非常に高い数字となった。
- ・選抜生が非常に健闘した。一貫生は難関大にチャレンジしている生徒も多い。
- ・昨年度国立大学の学校推薦総合型の合格者数40名。探究学習など自分の強みを生かしての受験で

一定の成果が出ている。第1志望の大学を早めから受験する生徒が増加傾向にある。

- ・私立大学の合格者割合が減少。原因は検証中であるが、全国の学力上位生が私立大学への出願を増やしたのではないかという分析結果も挙げられている。
- ・学習学力状況調査の資料から、幅広い学力層の生徒が混在する傾向が見られる。基礎学力の定着と充実を指導の中心に据えたい。

#### (4) 生徒指導・生徒支援について

- ・生活指導について  
いわゆる問題行動はほとんど見られない。本校の課題は自転車の交通事故。注意喚起をしているが今年度もすでに事故が起きている。今年度は1年生から原則ヘルメットの着用を進めている。
- ・生徒支援について  
学校に来ることが難しい生徒や悩みを抱える生徒が増えつつある。20名前後の生徒に個別の支援や配慮を行っている。支援会議をもって生徒の状況把握に努めている
- ・不登校生徒へ向けてのオンライン授業の実施を行っている。実施については課題が多いが、より良い方法を模索しながら進めている。
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの支援・連携も行っている。

#### (5) 生徒会について

- ・鳩祭が無事に終わった。今年度はコロナ前の文化祭にほぼ戻った。ただ、今後も衛生・安全面については細やかに対応していく（飲食の場所の指定、各取り組みの実施方法や収容人数）。
- ・みんなの鳩会議（MHK）は今年度、信州の歴史体験イベントを行った。小学生を中心に盛況だった。来場者の半分は小中学生。小中学生に向けた体験型の企画を生徒主体に考えていく。

#### (6) SSHについて

- ・継続22年目。今年度から先導的改革型Ⅱ期。  
県内で屋代高校が一番長い。他校の教育を先導する立場になる。
- ・課題研究の方法をより専門的にしていく。そのために信州大学とのさらなる連携強化を図る。また、課題探究の発表機会の確保や、教員研修の実施になどにより、課題研究を発展させていく。
- ・本年度から新たなSSH科目を新設。自由選択の科目を設置した。
- ・他県のSSH校にも参加を募り研究発表、生徒同士・教員同士の交流を行う。
- ・国際的に活躍できる人材育成に向けて海外研修海外校との交流を進める。
- ・探究活動の評価方法を生徒自身が納得できるようなものを作っている。

#### (7) 学校評価について

- ・教育目標（長期、令和6年）について観点を設け、評価していく。

### 5. 質疑及びご意見

#### 【質疑】

- ・ICT教材の職員の準備はどうなっているのか。配信の仕方はどうなっているのか。自動採点システムの導入は。  
→配信はロイロノートの使用。資料については共有しているもの各担当に任されているものもある。  
→ICTの研修会を年に2回行っており、年々職員のICTスキルも向上している。  
→自動採点システム使用の立候補をしている。
- ・大学卒業後のフォローはしているのか。生徒は将来どのような仕事に就きたいと考えているのか。  
→追跡調査は住所変更があり難しい。少ない回答ではあるが、研究職についているとの回答も見られた。中学3期生までが社会人になるので、卒業生の動きを把握したい。  
→なりたい職業をイメージできている生徒、大学で絞っていくパターン両方ある。理系は将来がイメージしやすいが文系は広く教養を身に付けていく傾向が強い。どちらもいいよと勧めている。  
→自分のキャリアについてイメージしながら進めてきた探究活動がある生徒は、大学入試の面接でもしっかり説明できている。

## 【ご意見】

- ・授業を見て、職員の緻密な準備が大変だと感じた。生徒が熱心に授業に望んでいた。
- ・自転車の事故が心配。指導のあり方について、自転車が高性能になってきて加害者になる可能性がある。事故から自分の身を守る視点と、事故の加害者になってしまうことの怖さについても指導していくとよい。運転行為だけでなく整備や保険なども含めて注意を促すとよりよい。  
→自転車通学を許可している生徒は全員保険に入っている。自転車の右側通行も指導していきたい。夏休み前の講話で全校生徒に再度注意喚起をしていく。
- ・職員が電子黒板を使いこなしている。自分のときと比べて設備が整っていて羨ましい。
- ・鳩祭での近隣への挨拶活動が社会人的な対応を育てることにつながっていくのでは。
- ・鳩祭のMHKのような活動がおもしろい。  
→MHKは係長、副係長のアイデアで進めていた。本年度は歴史館から2名の職員が来て、講師を務めてくださった。来年度も生徒のアイデアを見守りながら進めたい。
- ・屋代高校の生徒はよく授業を聞いている。聞く力がある。
- ・SSHは屋代高校の武器になっている。今後のさらなる発展を期待する。
- ・不登校支援は中学校も大きな問題。私立は通信制が増えてきており、中学生にもその点をアピールしている。屋代高校の支援体制を説明していけば、安心する中学生もいるのではないかな。
- ・文化祭での生徒の衛生面や安全に対する配慮が素晴らしい。
- ・美化が気になる。4棟の掲示や清掃用具の管理、廊下のカバンは地震・火事の際には大丈夫か。
- ・廊下ですれ違う生徒の「こんにちは」に明るい気持ちになった。
- ・タブレットの使用をみて時代の変化を感じる。
- ・中学生は活発な姿、高校生は自分の目標に向かって頑張っている様子が見られてよかった。
- ・教室が狭く感じるがエアコンなど環境面で配慮をしている。
- ・息子の受験時には親は口を出せなかった。自分で考えていく息子になったのは、中高での指導があったからと感じている。
- ・予測しない事象にどのように次の選択をしていくのか、正解を選ぶ力よりも正解のないものを掴み取っていく力を養うことが大切なのではないか。そういった力が屋代中高で培われていると感じる。今後も続けていってほしい。

## 6. 諸連絡

次回予定：11月中旬～下旬（中間評価を受けて）

## 7. 閉会